

総務産業委員会報告書

令和6年5月13日

備前市議会議長 守井秀龍様

委員長 山本成

令和6年5月13日に委員会を開催し、次のとおり調査したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	調査結果	備考
1 地域開発についての調査研究 ① 旧アルファビゼン整備事業について	継続調査	——

総務産業委員会記録

招集日時	令和6年5月13日（月）	第2回臨時会閉会後 (会派代表者会議・議会運営委員会閉会後)		
開議・閉議	午後4時32分	開会	～	午後5時25分
場所・形態	委員会室	閉会中の開催		
出席委員	委員長	山本 成	副委員長	内田敏憲
	委員	尾川直行		石原和人
		森本洋子		藪内 靖
		松本 仁		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等		なし		
傍聴者	議員	なし		
	報道	あり		
	一般	なし		
説明員	産業建設部長	河井健治	市街地活性化政策課長	祇園進太郎
審査記録	次のとおり			

午後4時32分 開会

○山本委員長 ただいまの出席は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより総務産業委員会を開会いたします。

閉会中の継続調査事件に関する調査研究を行います。

地域開発についての調査研究、旧アルファビゼン整備事業について御報告をお願いいたします。

○祇園市街地活性化政策課長 本日は臨時議会でお疲れのところ、お時間をいただきありがとうございます。

このたび旧アルファビゼンの改修計画が決まりましたので、御報告をいたします。

本日は、委員の皆様に旧アルファビゼンがどのように生まれ変わるか知つてもらうために説明させていただきます。少し長くなりますが、どうぞよろしくお願いします。

説明順序は、最初に工事発注手順等の流れを説明し、その後に建物平面プラン等について御説明いたします。

まずは、工事の発注手続についてですが、前年度中に設計を完了し今年度当初に国庫補助金の内示をいただきました。それを確認した後に、工事発注の起案等を行っております。その後、今月7日火曜日に入札告示を行っています。入札につきましては、条件付一般競争入札とし、2社JVでの参加となります。

簡単に参加条件も説明しますと、親になる業者は岡山県内で建築一式工事の総合評定が800点以上、800点以上というのはAランク以上になります。そして、過去10年間で3,000平米以上の新築または増築、改築、改修工事を行った業者になります。そして、子になる業者は備前市内で建築一式工事の総合評定が800点以上、Aランク以上の業者となっております。そして、改札までの流れは、告示から4週間後の6月4日火曜日が参加の申込み締切日となります。さらに、その1週間後の6月11日火曜日が開札日となります。そして、改札により落札業者が決定すれば、早期に仮契約を締結し、その後契約締結議案の提出をさせていただく予定としています。議案が提出された際は、審議のほどよろしくお願ひいたします。

そして、補足ですが、補助金について少し説明させていただきます。

以前、委員会でも簡単には説明したことがあるのですが、当初はデジタル田園都市国家構想交付金で5億円の補助金を見込んでいましたが、より多くの補助金をいただくため空き家対策総合支援事業での補助金の申込みを行いました。その結果、1億5,000万円増の6億5,000万円の補助内示をいただいております。現在は国へ対して補助申請を行っており、6月には交付決定となる見込みで進めております。

続きまして、旧アルファビゼンの平面計画等を説明しますので、お手元の資料を御覧ください。

図面は下から配置兼1階平面計画、続きまして2階、3階、4階と並べております。

まずは、配置兼1階平面計画から御説明いたします。

建物配置につきましては、見て分かるように敷地いっぱいに建ててあったアルファアビゼン建物がかなり小さくなり、向かって下側の東側には、芝生広場や駐車場等の中庭ができる予定です。また、立体駐車場へ上がるスロープも撤去したため、外周1スパン分ほどがなくなったため周囲への圧迫感もかなり軽減されると思っています。

そして、1階の屋内についてですが、東側、向かって下側の玄関から入ってすぐの場所におもちゃ広場として広いスペースを取っております。これは雨天でも子供が自由に遊べる場を計画しており、その右隣には休憩スペースも設けています。こちらは市内に子供の遊び場が少ないとの声をよく耳にしますので、おもちゃ広場には遊具やおもちゃ等、子供が思い切り楽しめる空間を計画しています。そして、付添いで来られたお父さんやお母さん、おじいさんやおばあさん等は子供を見守りつつ休憩スペースで飲食等ゆっくり過ごしていただければと考えております。また、来館した方が長時間安心して過ごせるように、1階の近くには託児室や授乳室、幼児用トイレ等も計画しております。そして、おもちゃ広場の向かいには可動間仕切りで仕切ったフリー活動スペースを設けています。こちらは学生が学校帰りに集まったり、近所の人たちが井戸端会議をするような人が集まる場となったり、市民が自分で作った工作や絵画を発表する場になったり、おもちゃ広場と関連してイベントを実施する等の様々な使い方ができるスペースとして考えております。あとは来館者の案内もできるように、玄関近くに公民館の事務所を配置しています。

続きまして、2階の説明をいたします。

この階は、市民センターから移転する予定の中央公民館、片上公民館として使用する諸室を配置しています。右上の可動間仕切りで仕切られた多目的ホールは、一体にすれば約200人が入ります。そのほかは、調理室、音楽室、和室等、これまでと同様に市民が利用できる部屋を配置しております。

残りの3、4階につきましては、同じ平面図になっておりますが、階段やエレベーターで上に上がってきたところに備蓄倉庫を配置しています。これは災害の備えとして必要な物資を保管する場所と考えております。その隣に将来活用スペースとして広いスペースを書いておりますが、これは利用者のニーズや時代のニーズ等を調べながら今後この場所にふさわしい用途を順次入れていきたいと考えております。

平面計画の説明は以上となります、今後地元の片上地区をはじめ備前市民等へ広く広報していきたいと考えています。そして、多くの市民に接する委員の皆様におかれましても、今日聞いた内容を市民に広く広めていただけると幸いです。やはり信頼がおける人からの口コミ効果が高いと私は考えていますので、ぜひ新しくなるアルファアビゼン、こんな用途が入るんだよというようなことを市民の人にも事前に案内していただければ実際に来年度になって活用してくれる方が増えるんじゃないかと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

以上で説明を終わります。

○山本委員長 旧アルファビゼン整備事業について質疑のある方の発言を許可いたします。

○藪内委員 私、図書館の説明のときにも今から言うことと同じことを言ったけど、同じようなことがダブってないかと、重複していないかと、ここに芝生広場とかありますよね。図書館の説明のときも、周りに何かそういうのがあったんです。さっきフリースペースですか、200人ほど、図書館には何か300人ぐらい入れるアリーナか何か同じようなもんばかりできよんじゃないかな。その辺は、よく考えられていますでしょうか。

○祇園市街地活性化政策課長 委員がおっしゃるとおり、類似の用途にはなるんですけども、今市民センターには旧アルファビゼンにあるような多目的ホール、これが講座室1、2という広い部屋があります。それと同等のものをアルファビゼン多目的ホールに今考えておるんですが、図書館に300人のホールと言われたんですけども、市民センターには今800人を超えるぐらいの収容できる大きなホールがあります。今度造る図書館にはそこまで大きなものはできないですが、たくさんの人を入れてイベントするためのホールを図書館にということでちょっと規模が違う部屋を計画してあるという形になっております。それと、平面計画とか運用について十分図書館活動課と市街地活性化政策課とも協議をしながら連携を取って機能の重複がないこと、あと上手に役割分担ができるようにということで常に協議はしながら進めておりますので、今後もそういう不経済なところとか不効率なところがないように協議を進めていきたいと思います。

○藪内委員 前、尾川委員がほかのときに木を、アルファからマックスへ行く途中とかにも木を植えてあるけど、その辺もうぶすぶす切ったと。そういうことをするんであれば、最初からないほうがいいなど。ここにも芝生広場、確かに感じはいいですよね。図書館にもそういうところや木を植えてあって、それは手入れがすごい大変じゃないかと、枯れ葉とか何かそういうことが、どういう木を植えようとしているのか分かりませんけど、そういうことばかりかなと思ったり、さっきも言いました市民センターには700から800人収容のホールがあると、でも今からこの人口の様子を見ていると特にこの間発表にあったように消滅の可能性があるような都市に入れられてしまつて、そういうことを考えたら図書館の300を400にしてでも、もう700、800というのはあんまり要らんなと思いますし、200をもうちょっとそういう使い分けを考えて、また検討して、まだまだこの図面の状況ですから、また検討もよくしていただけたらと思います。

○尾川委員 まず、目的が全然変わつたが。それから説明してくれにやおえんわ。当初の計画は社会福祉協議会が入るとか、歴史民俗資料館が入るとか。それらの説明が全くないのに、どうしてこうなつたんな、目的は、その説明してくれにや、まずそうじやがな。何のために今日集まつたん。資料館は資料館で休むと書いてやめると言ようたんが、休みじやというてみたり、何やら分からんわけじや。誰が決めよんならとわし言うたんじや。全てそんな感じじやが。そんなことあんたらもよう納得しとるなと思うで。社会福祉協議会が、こっち見ようていっぱいになつとつて、職員がどこへ行った、あっちこっちしていくつおめえ移動しょんなと言うたんじや、引っ越

しを。何時になっても夜になんでもやりよんですと言うから、働き方改革なりやせんがなというてわしおもしろう言うたんじやけど。市民が集まって、そのスペースで話をして相談するスペース全くなからう。あんたらカウンターの中おるんじやろうけど、カウンターの外の者の気持ちになってみられ。全然分かってねえわ。その辺まず説明してくれにや。何でそんな変わったんなら。わしは社会福祉協議会が来るということで、しょうがねんかなという感じじやったんじやが。ありやせんが、何にも。それで、今市民センター800人要らんと言ようけど、600人というて、ほんなら山本選手帰ったらどないするんなと言うんじや。そりや万が一かもしれんけど、そんなもん。ほんならどうするんならというて、もっと総合的に考えとかにや。

○祇園市街地活性化政策課長 失礼しました。前回、約2年近く前に合同の委員会を開催して平面プランをその時点の計画を説明させてもらいました。確かに、そのときから用途がかなり変わってるところがあります。そちらについて説明ができてなかつたので、改めて説明させていただきます。

まず、1つ変更の要因としては、補助金に空き家対策補助金を充てるということもあります。こちらにつきましては、空き家を活用して地域コミュニティーの維持再生の用途に使う場合、補助対象となるということで公共の用に要して、あと収益を得て運営しない施設というのが対象になるということで……。

○尾川委員 1個ずつ一問一答で行こうや。そしたら、結局補助金が出んから社会福祉協議会が取りあえず補助金持って、できたら入れるかもしれん、そういう意味かな。

取りあえず補助金、空き家対策の云々、1億5,000万円をもらうために内容を変えるということかな。

○祇園市街地活性化政策課長 それも一つの要因です。

○尾川委員 そんな話、そんなこそくな手段してえんかな、もうちょっとよう深く検討して、わしはで、みんなは納得しとんかもしれん。わしはそんな軽率なことで建設を進めてもらいとうねえ。こっちは本当どうなるんか、どうなるんかというて何遍も聞いて、何遍も言うてきとるはずじや。どねんなんかと思う。補助金もらうために変更したというのはつきり言やええが、そしたら。

○祇園市街地活性化政策課長 順に説明させてもらいます。

さっき言いました補助制度というのが一つの要因であります。そして、委員が言われる社会福祉協議会、これにつきましては社会福祉協議会とか市役所内部での話をして現在市役所の中にあることで市民の方が市役所の必要な用事と社会福祉協議会への用事を同時に済ますことができるというメリットも、市民に対するメリットもあるし、社会福祉協議会としても市と連携を取るというメリットもあるということで、それも加味して市役所に残るということに決定しました。

あと専門学校とかカフェ等につきましては、やはり金額、収益を得て運営していくものということになりますので、これも補助対象にはならないということで協議した結果、優先順位が低い

ということで今回外れております。

歴史民俗資料館につきましては、今の施設は古いですけども、協議を重ねた結果、アルファビゼンに行かずに現状の施設を活用するということで方針が決まっております。

あとはコワーキングスペース等も検討の中にあったんですが、利用者からお金を徴収して運営するということになりますので、そちらも優先度が低いので外れた結果となっております。

これらについては最初に補助金の話はしましたが、財源も非常に重要な点だと思います。それと利用者とかも加味して市役所の中で何度も協議をして方針を決めてきたものです。軽率に考えて平面プランの変更をしたわけではなく、十分に市役所の中で協議をした結果、これがベストじゃないかということで現在計画を定めておりますので、御理解いただけたらと思います。

○尾川委員 どこが空き家対策になるん、この配置で。ようこんなん国が認めるんじやな。

○祇園市街地活性化政策課長 空き家対策、空き店舗等そういう空いた施設を有効活用するというのも補助対象となるということで、国とも何度も協議をして補助申請をして内示までいただいております。

○尾川委員 要するにその用途が変更になっていきよう。その経緯をまとめたもんもらえんかな。どんどん変わって、そりや空き家対策も1億5,000万円、そんな用意できるんかと、本当こんなん市民見て何ならというて、そりやまあ1億5,000万円については理解しようけどな。何かわしはおかしいんじやねえかなと。

○山本委員長 祇園課長、変更の経緯とか、そういうふうなものを書式で出せれますか。

○尾川委員 経緯が全くなしで、こっちの者は、つい最近までそう思うとるよ。市民センターや民俗資料館1枚紙ぽんと放り込んだら、この文書読んだら前は閉鎖すると言ようたんじや。あそこは倉庫になると言ようた。じゃけど、文書見たら5月末か何年末には再開、そりやもう責任者誰も出てこんのじや。資料館の館長が資料館の館長の名前でよう出さんのが。見せちゃろうか、持つとるで。そんな状態で市民が納得するん、本当。もうちょっと懇切に説明せなんだらおえんで。

○祇園市街地活性化政策課長 このプランに至った経緯につきましては、まとめまして提出させていただきます。

○藪内委員 先ほどまでの委員会でもそうだったけど、当初の目的はこうであったのに、補助金を目指して、確かに大きいですよね、1億5,000万円つくというのは。補助金に寄せるじゃないんですけど、真反対ぐらいになんでも何かそっちへ行くぐらいの、でも今日の電子黒板もそうですけど、それがどうしても要る、それを買って子供たちに教えてあげたいという目的じゃなく、それを買うから、あるから丁寧に使いたいですというような何か説明がありましたけど。これだって最初はカフェとかありましたよね、確かに。社協が入るであるとか、いろんなところが入る。確かに尾川委員に言われるまでちょっと気づかなかつたんですけど、寄せ過ぎてやっぱりもう少し最初のことを大事に、あんまりにも変えてしまうんだったら、それ要らんかったという

話になるじゃないですか。社協もこっちのほうが便利だったり、ほんなら社協をそっちへするために造りましょうと言うたのに、はなからもう要らんかったがなというような、社協そこの2階でえんじやがと、そんな話になるんで、補助は確かに大事なお金、前に河井部長が補助金は取りに行きますみたいに言われて力強いなとか思うたんですけど、あまりにも変わってしまったら補助ありきばかりになってしもうて本来のやりたいこと、みんなにしてあげたいことがどんどん崩れていくような、ちょっとそこは本当、もうでもこれが決まった以上はもう利益を得ることはできんから変えるにしても幅がないですよね。どんなでしょうか。

○祇園市街地活性化政策課長 委員おっしゃることも、よく分ります。補助金のためにというのが優先になってしまったらよくないのも分かるんですけども、今現在国とも協議して補助申請もしております。そんな中で、市民の方からもワークショップなりで意見を聞いたりしてプランを固めてきたところもあります。その意見ももう一度加味しながら、可能なところは用途を柔軟に対応できるところがあれば、その辺は運用等でも対応していくけるようなのは引き続き考えていきたいと思います。

○藪内委員 もうそれで進んでしまっては以上、その変更とか何か変えるといつても難しいでしようけれど、私はよく考えなきやいけないのがアルファビゼンの位置、それから図書館予定の位置、市民センターの位置、そこをよく考えて本当すみ分けであるとか、要不要をよく考えていただいて本当に尾川委員が言わされたように丁寧な作業、検討をしていただきたいと、これ意見だけです。よろしくお願ひします。

○尾川委員 社会福祉協議会がどこあったか知っとん、もともと。市役所の中にありやへんのんで。それで別に問題がなかったわけじや。その辺もあんたがそういう表現して当たり前なんじや、前からそうなんじや。一緒にあったほうがワンストップで行けると、そんなことじやつたらアルファビゼンが必要ねえなってくるんじや。そういう説明しようと納得せんで、みんな。だけど、わしら見とて早う出たらにやほかの職員の仕事の障害になったり市民の迷惑になったりするなというのは、わしは見とてカウンターの中で座るところもねえ、わしは青少年センターやこう入ると思うとったんじや。青少年センターやこう何でかというたら、相談者が来るわけじや。あんな状態でカウンターがあって相談できる。あんたらなってみられ。非行少年抱えて親が一遍何か相談させてほしいというて、真剣な人が来てあんな雰囲気じや相談やこうできりやへん、どこへ行つたらいつも変わりあるいて、どこへ行きやええか分からんような、でなしにやつぱりちゃんと分かってプライバシー保護したり、いろんな相談しやすさとか隔離するばあが能じやねえよ。そういうことをもう少し検討して説明するならしてもらいたい。市民がカウンターへ入つたら叱られるんじやから、あんたら言うことあろうが。もう少し練って説明して。

○森本委員 おもちゃ広場、子供さんが、小さいお子さんが遊ぶところですけど、これは市民の方に子育ての方にお伝えしたら大変喜ばれてました。雨の日も先ほど課長が遊べるということだったので、備前市にはなかなかないので大変よかったです。2点お伺いしたいの

は、芝生広場のところで子供さんが結局遊ぶように設定されてるんだと思うけど、フェンスとかは造られるんですか。

○祇園市街地活性化政策課長 外周のフェンス、あと駐車スペース等のフェンスは安全対策として計画しております。

○森本委員 あともう一点、水遊びと書かれてるんですけど、イメージとしては北長瀬のところを想定しといてよろしいんでしょうか。北長瀬のところに水遊びがあるじゃないですか。噴水がぱっと出て、そんな水遊びを想定してるんですか。それとも何か本当に水たまりがあるような感じで、水遊びってどういうふうなイメージしてるんでしょうか。

○祇園市街地活性化政策課長 北長瀬の駅のへりにあるのは、かなり大きな噴水だと思うんですけど、噴水というほどのものは考えておりません。ですけども、ここから水を流してこのスペースで小さい子がちょっと水をためてばしゃばしゃと遊べるスペースとして考えております。

○森本委員 それはたまってるだけですか。流れてるんですかね、絶えず。

○祇園市街地活性化政策課長 ずっとため放しだと水も汚れるんで、水道水から必要なときに水をためて遊べるようにということで、ふだん水が出っ放しという形のものではございません。

○藪内委員 それはやっぱりよく夏場にニュースで噴水のところで水遊びしてるシーンが流れ、遊べるようにしてあげたらいいと、事故さえ気をつけて、でも何かポンプから過装置があつて巡回させたほうがいいです。たらもっとボウフラやこうで、備前市美術館のときにも最初に水を張ると言うたけど、ボウフラが発生して蚊ばっかりになるから、かといって水道をどつと使うのも無駄ですから、それが幾らするかを知らずに言うのは悪いんですけど、そういうふうに考えております。

○祇園市街地活性化政策課長 やはり子供が楽しめる場所として水遊び場としておりますので、その辺は実際にどういう形であるのが子供にとっていいか、遊びやすいかというのももうちょっと研究して考えたいと思います。

○内田副委員長 駐車場ですが、思いやり駐車場3台となってますが、その上のはうにPが2つありますが、合計5台ということでおろしいでしょうか。

○祇園市街地活性化政策課長 思いやり駐車場、障害者等使える駐車場3台と、上の2台は急速充電器の機能がついた駐車枠2台と、合計5台と考えております。

○内田副委員長 そしたら、一般の方が置くとしたら、どこへ置けばいいですか。

○祇園市街地活性化政策課長 ちょっと話が長くなるんですが、アルファビザンの近くに図書館、それと商店街等があります。そういった片上エリアを面として考えたときに、やはりそれぞれ歩いて巡ってもらいたいという思いがあります。それで、施設の正面に駐車スペースを設けるんじゃなしに芝生広場等楽しめる憩いの場を設けて、あと駐車場についてはほかの場所に止めて歩いてきていただきたいと考えております。

ですけども、あまり離れた場所に駐車場があると不便なので、この建物のちょうど北西の角に

なるんですけども、和気のほうに抜ける道沿いに30台ほどは駐車スペースを考えております。あとは図書館との間に駐車場を計画したりということで、そういうところに止めて歩いて回ってもらえたたらというのも考えて今回整備の計画を立てております。

○内田副委員長 私も回遊性を高めるためにはそうしたほうがいいと思っておりますけど、そういったことももっともっとPRしていくべきかなというふうに思っておりますので、よろしくお願ひします。

○石原委員 もうここで言ったところでということもあるけど、さっきもいろいろ出ましたけど備前市の事業において何か度々感じるのが事業にそれぞれ大義名分というか、このためにこの事業が必要でこんだけの経費が必要だから皆さんいかがですか、議会の皆さんいかがですか、お認めください、御提案があるのが本来。だけど、ここがぐらついとるから今回みたいなことにもなりかねん。設計の予算が出たときも旧アルファについて、備前市議会でもいろいろ意見も出て賛否も分かれたこと也有ったと思います。減築か全解体か検討するからその費用も、僕ら個人的にはその費用は、しっかり比較検討して費用対効果比較してされればいいじゃないですか。次に、どんとこの設計の費用が出てきた、そのときも、いやいや、まずは構想のようなところからどんだけの何を持ってくる施設が必要でという議論もたしかあった。だけれども、議会の議決を経てこういう形で今来とんすけど、でもこれもうこの形で今告示もされて、ほぼこの形でもう業者に入札募集しとる段階でしょうから、ほぼこの形で、間取りがそんなに変わるわけでももうこれからないでしょうし、費用のこともありましょうから、想定としてはもうさっき言われた入札、開札を経て次の6月定例会のいずれかのタイミングで契約の議案として出てくるという心構えでよろしいですか。

○祇園市街地活性化政策課長 委員おっしゃるとおり、入札して仮契約ができましたら、その段階で議会に契約議案として提出させていただきたいと考えております。

○石原委員 それから、継続費で御提案があった事業費です。今年度の当初で継続費の補正で1億7,000万円、8,000万円ぐらい追加で補正がなされて、今になっとんですけれども、さっき経緯をこれまでのまとめたものをまた分かりやすい形でという話もあったけど、1点さっきの臨時会の補正予算の議論の中でもデジタル田園都市国家構想交付金の手続申請交付決定を受けての御提案ございましたけれども、そのときに継続費の中で令和6年度分として見込んだった5億円、デジタル田園都市国家構想関係の交付金5億円見込んでおったのを1億数千万円交付率の高い補助率の高いものにということですけど、1個だけ経緯の中で他方のデジタル田園都市国家構想交付金を取りにいくのに、頂きにいくのに11月頃に申請をされて審査を経て4月ですか、交付決定を受けましたみたいなことがあったけれども、旧アルファビゼンのこうやって事業を検討してきた中で財源をもうデジタルのほうよりもっといい補助率の、内容を変えれば、料金徴収したり利益を上げたりするところを除外すればさらにその高い補助率があったんですけど、片やデジタルについては11月頃の申請、そちらの空き家対策補助への申請なりというの

は、いつ頃なされて交付決定がいつ頃と言うたんですか。

○祇園市街地活性化政策課長 空き家対策補助は昨年の下旬ぐらいから補助の申込み等して、補助の内示が4月1日に補助内示はもらってます。正式な補助申請については現在行っておりまして、交付決定は6月頃に決定通知が届く予定という流れになっております。

○石原委員 空き家対策補助金の申請が昨年下旬頃と言われてたけど、確認、昨年度の。

○祇園市街地活性化政策課長 空き家対策の申請というか、事前の手を擧げる一応申込み見込みという形で、先にそういう補助協議という形でさせてもらって、正式に補助の申込みしたのは年明けてからになります。

○石原委員 年明けて令和6年になった1月、2月ぐらい。これも今さらですけど、その時点では大きく内容が変わりますよということは当然想定もされとったわけでしょうから、そもそもさつきも出た社協さんとか何か福祉関係を一元化するような窓口ワンストップみたいなものを目指しての何かこの2階であつたり整備じゃったと思う。それが大きく内容を変更されてというのが最低限さつきのよっしゃ、空き家補助取りにいこうという時点では大幅な変更が当然あったわけでしょうから、適切なところでこっち側へ説明がされたり御報告があるべきであって。もう今さらですけど、その経緯が出てくるのをまた見させていただいて確認もさせていただいて、契約議案で次の約1か月後には出てくるわけですから、これまでの経緯を分かりやすい形でまずはお示しをいただきたいと思います。これはもうお願ひです。

○松本委員 もう入札含めて、もう決まつるということですか。もう決めたということで理解、もう変更できないということで。

○祇園市街地活性化政策課長 入札告示をこのプランで5月7日にしております。

○松本委員 ということは、それを取り消しますとか含めてできないと、それは信用の問題かも分からんけど、いやもう、それはできないんならもう話しても何となく今さらという感じがしますけど、そこら辺。

○祇園市街地活性化政策課長 入札告示、取下げできないことはないんですけども、今年度中にアルファビゼンの改修をして来年度4月にはオープンを目指しておりますので、それを考えると今のスケジュールで進めさせてもらわないと間に合わなくなるということで考えております。

○尾川委員 社会福祉協議会が入ることは、もう芽がねえわけ。ほとばり冷めるまで適當な、そんなことをするんかせんのか、その辺ちょっと腹を割って話してくれりやええのに。

○河井産業建設部長 種々担当から説明を申し上げたんですけども、昨年4月に私が一応これを預かりましてデジタル田園都市国家構想の補助金が予算化されておりましたが、現実申し上げますとこの建物でデジタル田園都市国家構想の補助金を使って整備するのはかなり難易度が高いというふうに私は判断しました。何かその財源として既にもう5億円という財源更正が出来上がっている中で穴を開けるわけにはいきませんので、そこで空き家というのが使えそうということで種々検討した結果、今の結果になつたわけですけれども、あと備前市美術館にしても図書館

にしても、委員皆様へ御報告は行つとると思うんですけれども、当初の予定よりかなり金額も増加しました。だからといって建設に係る建築工事については人件費についても資材価格に関しましてもどの建物でももう上がっているわけで、じゃ、旧アルファビゼンだけがそんなに上げずに終わるということにはなりません。最大限その空き家補助 6 億 5, 000 万円いただける見込みが立って、その補助金に見合うだけの歳出を先般の補正予算でお願いしたという状況です。

あくまでもこの図面にも書いてありますとおり、将来活用スペースという形で全く当初の計画を遂行しないという気持ちはございません。やはり財源がないと、残りを全て一般財源でやりますというのもなかなか今現状も私のほうで申し上げれないという状況の中です。ですから、今尾川委員言われたように、これから先状況を見ながらまた考えていく形にはなるけれども、今この時点で私のほうから、じゃ、そうしますということは国庫補助金のこともございますので、その発言はちょっとできかねるんですけども、それとあと冒頭藪内委員が言われた図書館との重複なんかでも当初このアルファビゼンにもカフェの予定がありました。

ただ、図書館にもできるということで、それはもう重複はやめようという形で経費節減の意味も込めてこういったところは落としていたという部分もございますし、水遊び場の御指摘もいただきましたが、当初水遊び場造るときに私も倉敷のイオンなんかで噴水が上がりようのを見てそれができんかと担当のほうへ指示はしましたけれども、コストがそんなにかかるのかというコストだったので、そういったところも限りなく現実に近い形で見直してきたという実情もございます。

最低限 1 階のおもちゃ広場、それから 2 階の中央公民館、片上公民館、こういったところについては当初の予定を崩さずに最低限頑張ってやり切ろうという形でやってきております。ですから、今後またそれぞれ担当部署において財源を確保していただきながら、将来活用スペースのほうを何か整備できないかというのは検討してまいりたいと思っております。有利な財源が、もう一切市のほうに残されてないという形です。合併特例債ももう使い切ってなくなっているという状況で、さらに整備するのに不足するので一般財源くださいというふうにはちょっととなっていないうちのが今の現状でございます。その点だけを御理解いただけたらと思います。

○尾川委員 ちょっと確認だけど、わしの聞き間違えか、デジタル田園都市の 5 億円と 1 億 5, 000 万円じゃなしに、その空き家対策が 6 億 5, 000 万円ということ、その辺を明確にして。祇園課長が言ようると部長が言うこと違うような感じしてちょっと確認してほしい。

○河井産業建設部長 補助金につきましては、国のデジタル田園都市国家構想交付金、こちらのほうは一切いただかない、ゼロです。全部空き家対策ということで、6 億 5, 000 万円という補助金の今内示をいただいているところでございます。やはり中身がその補助金にマッチしていればデジタル田園都市国家構想交付金ももらえますけれども、それにマッチしてなければいけないということになりますので、一番有利な補助金を採択していただく形で頑張ったという形

でございます。ですから、デジタル田園都市国家構想交付金でいくと稼ぐとか、そういったのが入ってこないとなかなか難しいという状況にもなりますし、現実的にそれができるかといったときに考えたときになかなか難しいかなと私の感じでは思いましたので、担当のほうが一生懸命どんな補助金があるかというものを探したというのが今の結果につながっているというところでございます。

○石原委員 最初に継続費の提案があったときに、令和6年度分はデジタル系の国からの交付金5億円、これデジタルの関係の交付金ってすごい範囲も広うて、こういうことに交付があり得るんじやという感じで、地方創生タイプとかいろいろあるじゃないですか。それこそ備前焼の窯の補助から地域商社の設立から対象範囲が広いですけど、このアルファも5億円をいただけるんじやとか思いながら、そもそももう最初の財源のところの当局の見込み立てのところが誠にもって甘かったということよね。何か見込みもない、ほぼ実現性のないものが財源に充てられてというのが何か、これおえなんだからこっちにします、そりやそのときだけあるんじやろうけど何かあまりに見込みの甘さ、あれじゃったら歳入、財源のところの令和6年度もはてなぐらいでいかんといけんかって、今のお話聞きょうて、何か利益を上げるようなもんを入れんとデジタルのほうは採択難しいとか、片や空き家のほうはそういうもんが入ったら逆に駄目とか、何か改めてそれ感じました。また、財政の方がおられるときにお尋ねします。

○森本委員 6億5,000万円、申請された額、それとも上限が何かあるんですか、決まりが、空き家対策。

○河井産業建設部長 空き家対策の補助金については、上限という考え方は基本的にはないと思います。

ただ、この6億5,000万円という空き家対策での補助金というのは多分恐らくですけれども、日本全国で一番もらってるかなという金額になっていると思ってます。県内でももう僅かしか補助は下りてきようらないものですけれども、今回はこのアルファビゼンについてはかなりの金額をいただいたということになっております。

それと、あとデジ田ですけども、デジ田で極端な話、全くデジ田の芽がなかったということではないです。例えばこの建物の中にサテライトオフィスをするとか、それからおもちゃ広場なんかでも例えばよく他県であるようなおもちゃ博物館、美術館みたいな料金取ってやるとかという考え方をすれば対象になってきたという可能性は十分考えられますので、財源自体の更正が当初から間違っていたかというとそうではないと思います。

ただ、私が預かったときに、備前市で当てはめて現実的にそれをやったときに、例えば成果として上がるかどうかと考えたときにサテライトオフィスをそれじゃこの大きな建物の3階ぐらいに何部屋造って、コンスタントに利用される方がいて収入が上がってというふうな形が思えるかという中で、これはちょっと難しいかなという考え方から別の方向へ補助金についてはかじを切らせていただいたというのが現状でございます。

○森本委員 担当課がしっかりと頑張って取ってきたということですね。分かりました。

○松本委員 ええことはないけど、承認せざるを得ないでしょう。ええことはないけど。

○山本委員長 ほかにございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

ないようですので、以上で旧アルファビゼン整備事業についての調査研究を終わります。

以上で総務産業委員会を閉会します。

午後5時25分 閉会